

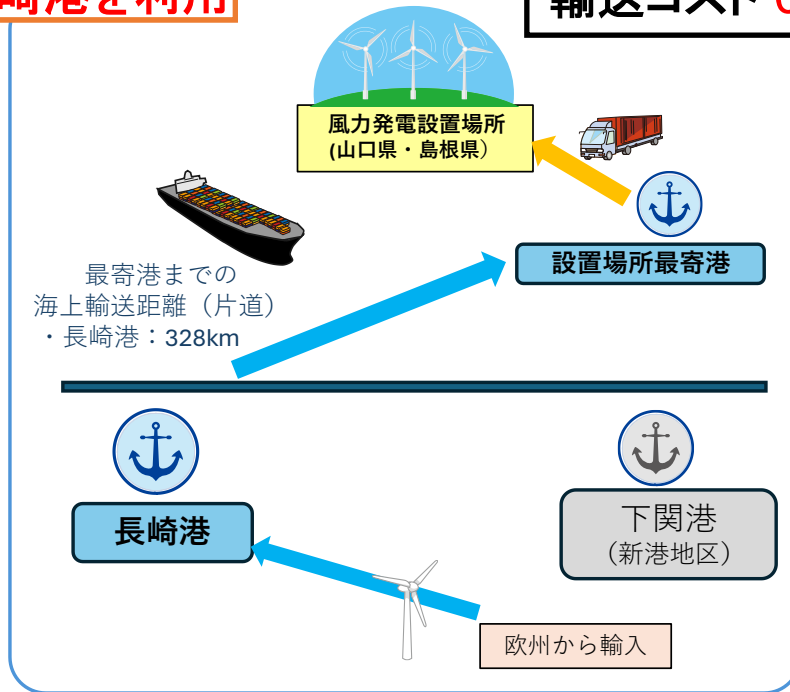
下関港国際物流ターミナルの整備

① 輸送コストの削減（風力発電部品）

当該ターミナルの整備により下関港新港地区での取扱いが可能となり、海上輸送費用が削減される。

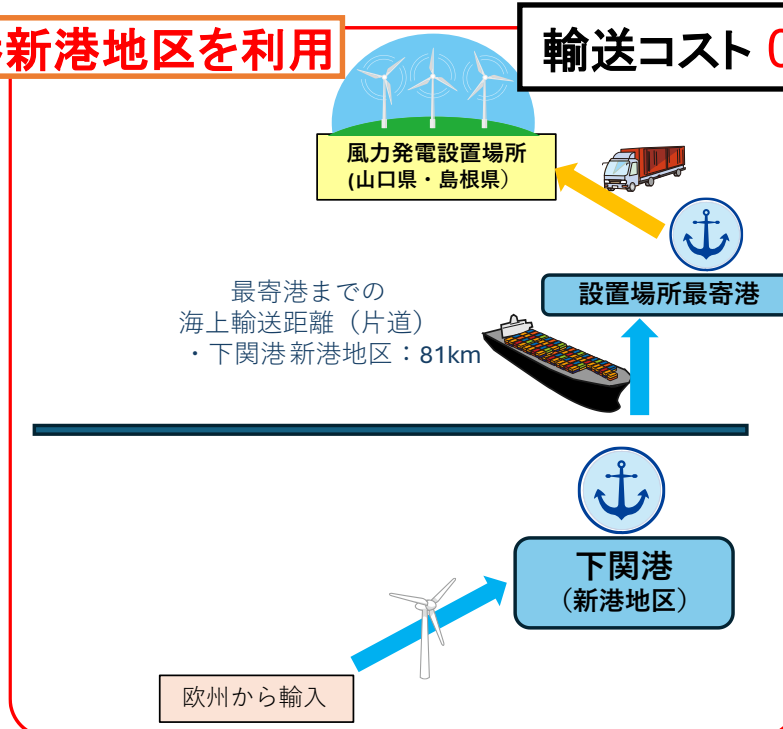
Without時：長崎港を利用

輸送コスト **0.41** 億円/年



With時：下関港新港地区を利用

輸送コスト **0.12** 億円/年



輸送コスト削減額 **0.30** 億円/年

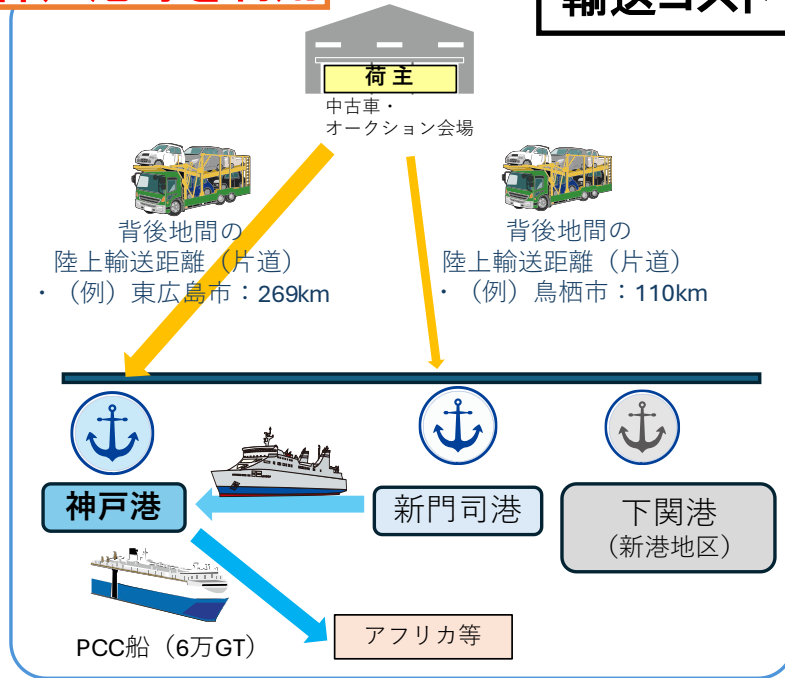
下関港国際物流ターミナルの整備

②輸送コストの削減（輸出中古自動車）

当該ターミナルの整備により、中国地方や北部九州地方の販売所で取扱う中古自動車を新港地区から輸出することで輸送コストが削減される。

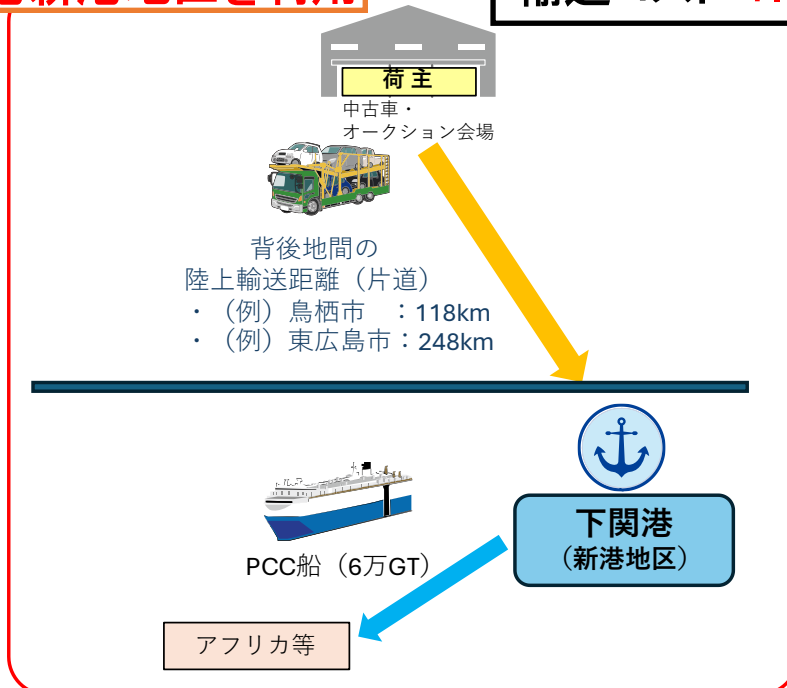
Without時：神戸港等を利用

輸送コスト 3.59 億円/年



With時：下関港新港地区を利用

輸送コスト 1.72 億円/年



輸送コスト削減額 **1.87** 億円/年

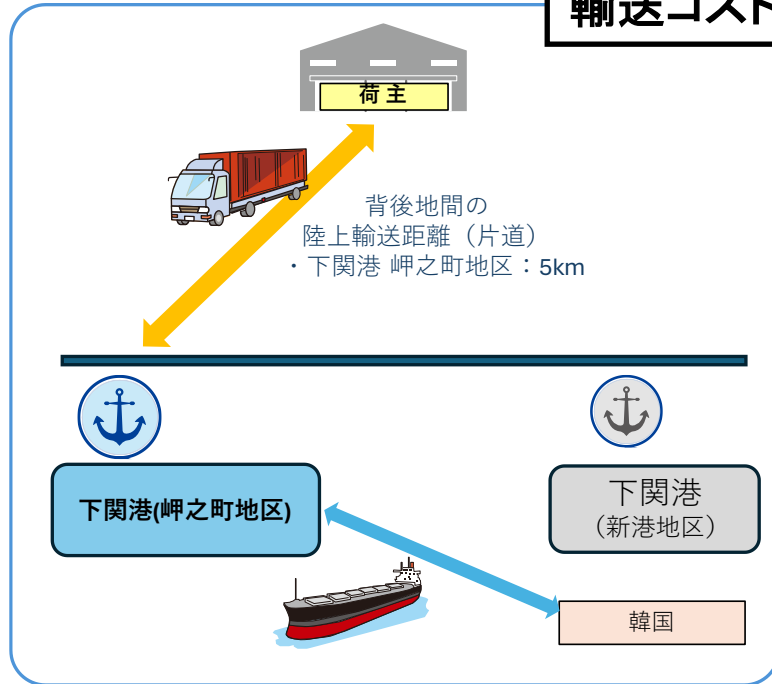
下関港国際物流ターミナルの整備

③ 輸送コストの削減 (コンテナ)

当該ターミナルの整備により、効率的で安定的な物流機能が確保され、コンテナ貨物取扱いにおける陸上・海上輸送コストが削減される。

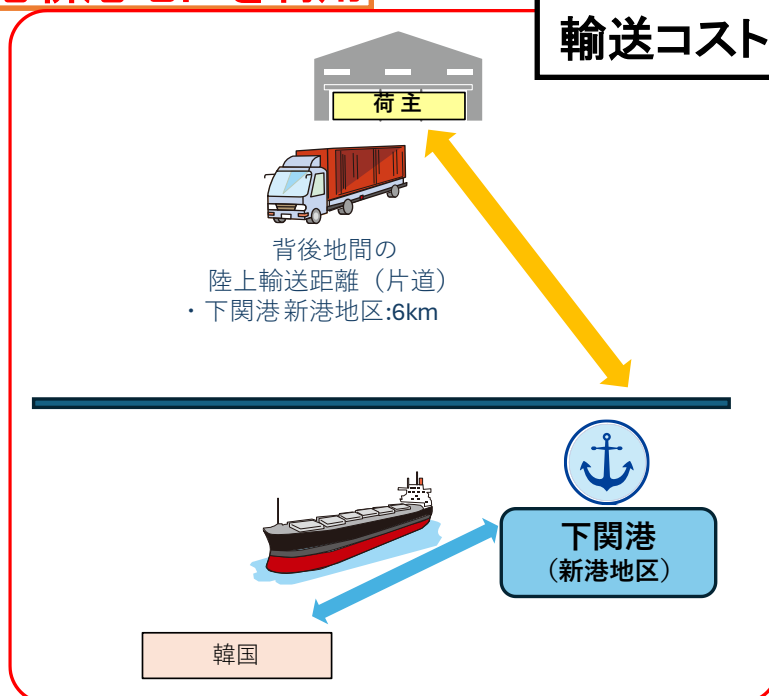
Without時: 下関港岬之町地区を利用

輸送コスト **0.44**億円/年



With時: 下関港新港地区を利用

輸送コスト **0.41**億円/年



輸送コスト削減額 **0.03**億円/年

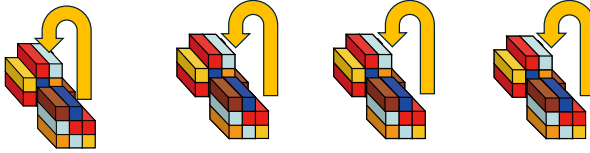
下関港国際物流ターミナルの整備

④ 荷役の効率化（コンテナ）

当該ターミナルの整備により、十分な広さのヤードが確保されることで、コンテナの荷繰りや滞留の発生が抑制され、これらの作業に係るコストが削減される。

Without時：下関港岬之町地区を利用

コンテナの余分な荷繰りが発生
・下関港 岬之町地区：4回/個



ふ頭内コンテナ取扱時間（滞留）
・下関港 岬之町地区：約6h/個

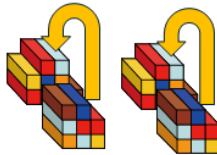


下関港
(岬之町地区)

荷繰り作業コスト **0.35** 億円/年

With時：下関港新港地区を利用

下関港(新港地区)：2回/個



ふ頭内コンテナ取扱時間（滞留）
・下関港 新港地区：約4h/個



下関港
(新港地区)

荷繰り作業コスト **0.20** 億円/年

荷繰り作業コスト削減額 **0.15** 億円/年

下関港国際物流ターミナルの整備

⑤避難水域確保による海難損失額の回避

当該ターミナルの整備により、遮蔽水域が避泊域として利用可能となり、荒天時に六連島付近に避泊していた船舶が人工島背後に避泊できるようになることから、海難事故による損失額を回避できる。

Without時：下関港（六連付近等）に避泊



With時：下関港（新港地区泊地）に避泊



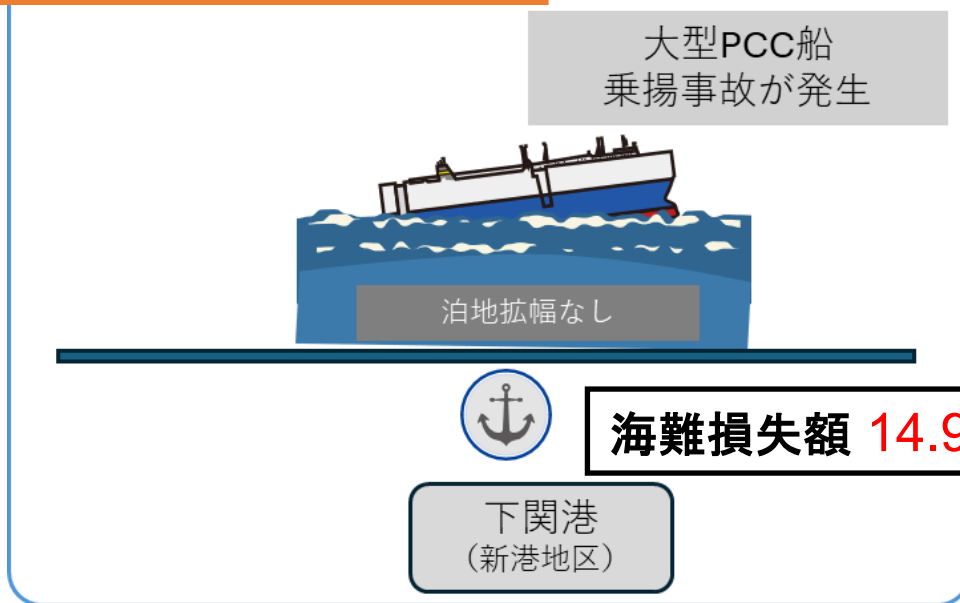
海難損失回避額 **19.99**億円/年

下関港国際物流ターミナルの整備

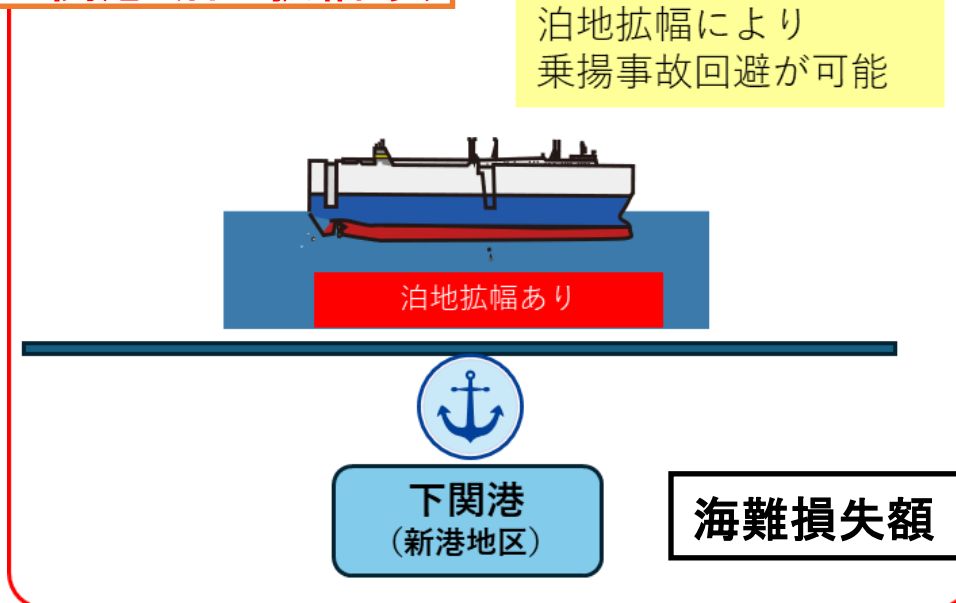
⑥PCC船乗場回避による海難損失額の削減

当該ターミナルの泊地（-12m）の拡幅することに伴い、浅所を撤去することで、乗場海難事故が解消され海難による損失を回避できる。

Without時：下関港・泊地拡幅なし



With時：下関港・泊地拡幅あり



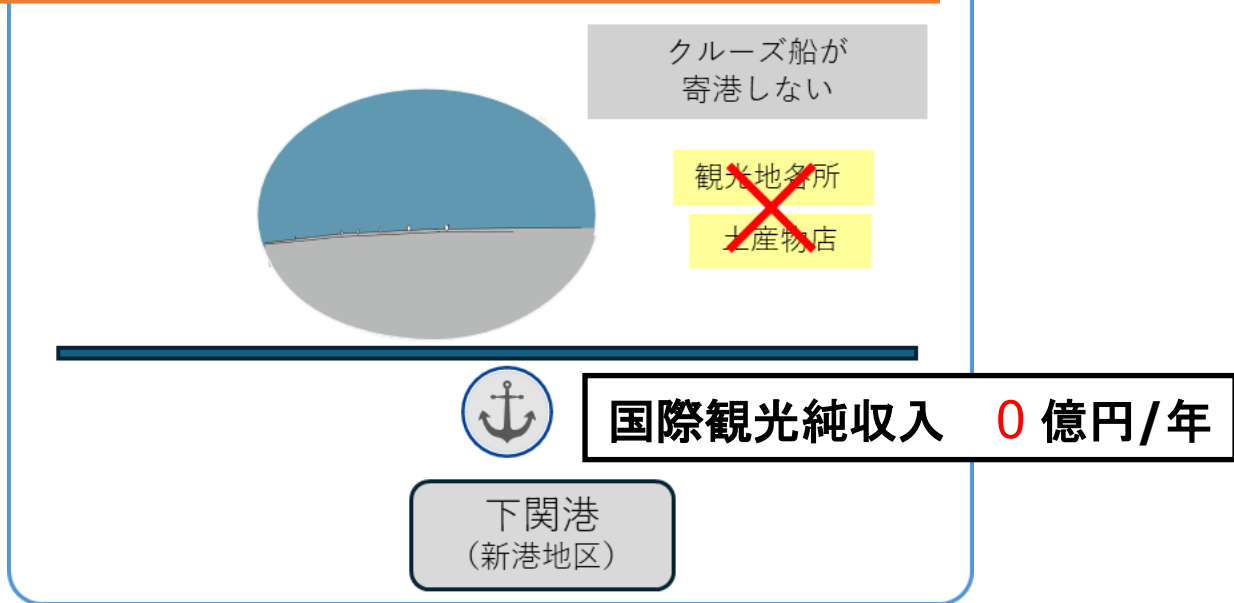
海難損失回避額 **14.99** 億円/年

下関港国際物流ターミナルの整備

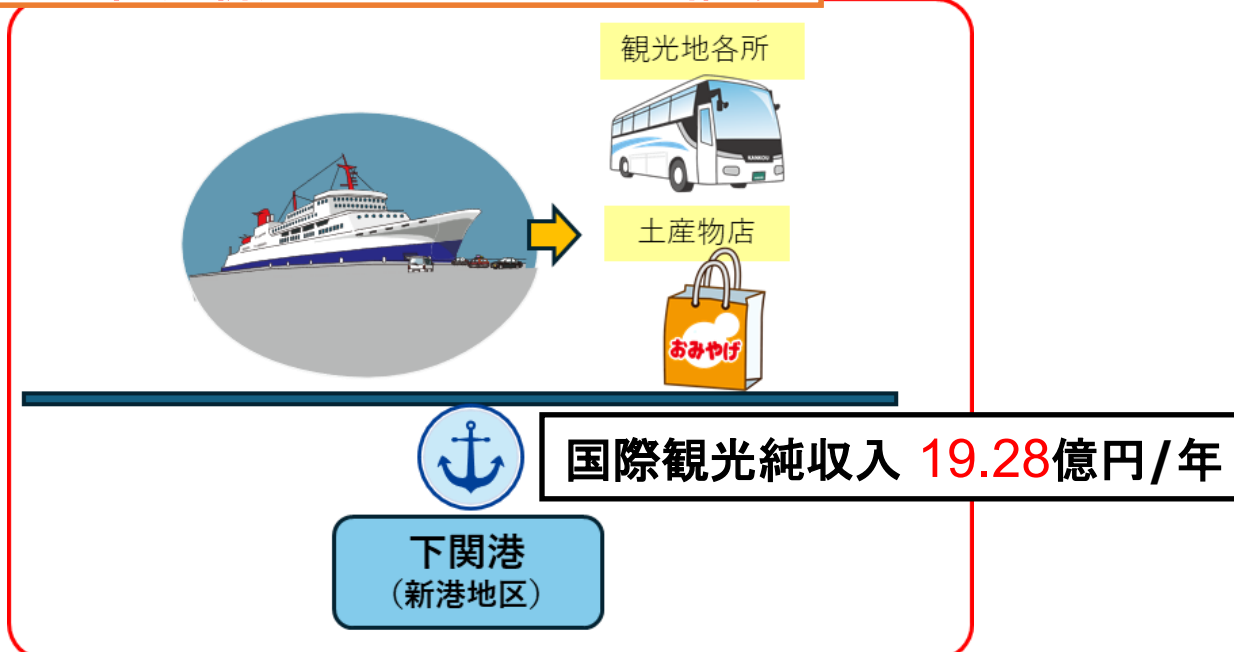
⑦外航クルーズ船の寄港に伴う国際観光純収入の増加

当該ターミナルの整備により、大型の外航クルーズ船の寄港が可能となり、外国人旅客の一時上陸に伴う観光産業の売上げが増加する。

Without時：下関港新港地区・ターミナル整備なし



With時：下関港新港地区・ターミナル整備あり



国際観光純収入 **19.28** 億円/年